

辞職表明の杉本知事の「セクハラ疑惑」

佐藤前県議・・・機敏に「知事は説明責任を果たせ」と申し入れ

来年1月に突然の県知事選挙・
県議会議員補欠選挙に

佐藤正雄前県議の

コメント

杉本達治知事がみずから
のセクハラ行為の責任をと
る形で突然の辞職を表明し
ました。報道では、来年1
月8日告示、25日投票で知
事選挙がおこなわれる公算
です。

送検され議員辞職したため、
福井市選挙区に欠員が1名
生じています。欠員1名を
補充する県議会議員補欠選
挙も知事選挙と同時にここ
なわれる公算です。

また、前回の県議選で当
選した自民党県議が有権者
に中元や歳暮名目で食品を
贈り公職選挙法違反で書類



こんにちは！



日本共産党前福井県議会議員

さとう正雄 です

2025年12月7日 480号

さとう正雄事務所 0776-26-7400

自宅 福井市光陽1-18-4 090-4329-1375

「ブログ さとう正雄」発信中

10月22日の知事と県の記者会見をうけて、翌日10月23日に中村保博、
美央両副知事あてに申し入れた内容です。文書は中村副知事が受け取りました。
県議会は知事会見後の約1カ月、知事に対してなんら具体的な追及をおこないま
んでした。チェック役としての役割が果たせなかったといえます。

2025年10月23日

福井県副知事 中村保博 様

福井県副知事 鷲頭美央 様

日本共産党福井県委員会副委員長・前県議会議員 佐藤正雄

杉本知事の「セクハラ疑惑」について

昨日、服部総務部長が会見を開き、4月に県職員が「杉本知事から不適切な内容
のテキストメッセージを送られた」と相談窓口の法律事務所に通報したらかにしました。
県は、通報者と知事に5月、6月に調査をおこない、弁護士3人の特別調査委員による調査
がおこなわれている、とのこと。

また、全庁の職員約3500人を対象に、知事からの類似事案の有無についての調査をお
こない、調査結果を公表する、としています。
杉本知事は取材に応じて、「県民にご迷惑をかけたことをおわびする」と述べています。
そこで以下の点を要望します。

1、 総務部長の説明や知事の説明でも「セクハラ」の内容そのものが「当事者が特定
されかねない」「調査委員に答える」などを理由にまったくブラックボックスとされています。
これでは県民にはさっぱり理解できません。知事みずからが説明責任を果たす場をもうける
べきです。特別調査委員の弁護士による判断、はもちろん尊重すべきですが、事案の概
要と自らの気持ちを明らかにして、県民に対して誠意ある説明をおこなうことは政治家とし
ての責任です。

2、 全庁職員への聞き取り調査などは必要ですが、たとえば「上司、県職員からの聞
き取り」などでは答えづらいケースもあるでしょう。職員の回答自体が守られなければなりま
せん。特別調査委員とその補助者だけが開封チェックできる簡易なアンケート調査にして、
類似事案がある、との回答者には特別調査委員の弁護士などから直接聞き取りをおこなう
ようにするなど、職員の「回答の秘密」が守られるやり方でおこなうべきです。

以上

ラ問題での説明責任が果た
されることがないまま、知
事職を辞し、県政に混乱を
もたらす事態となったこと
はきわめて重大です。杉本
知事は説明責任を果たすべ
きです。また、県議会も具
体的な追及がなく、知事へ
のチェック機能を果たして
いません。野党なきオール

与党議会の壁ができました。
県政チェックの議席を取り
戻すために全力でがんばり
ます。



11月22日、「戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション」の毎月の
宣伝で、佐藤前県議は「高市政権の大軍拡反対、核兵器容認は許せない。
政治を変えましょう」と訴えました。
(写真)

原発使用済み核燃料の乾式貯蔵反対、県民説明会を開け

——原発反対県民会議などが県議会へ陳情——

原発反対県民会議の石地優事務局長らが11月25日、福井県議会に使用済み核燃料の乾式貯蔵反対、県民説明会開催など求めて陳情しました。日本共産党から金元幸枝書記長と佐藤正雄前県議が参加しました。堀井純子議会議次長が受け取りました。



県議会に陳情する佐藤前県議（右から2人目）、金元書記長（同3人目）

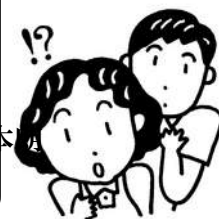
佐藤正雄前県議、街頭宣伝、対話、SNS発信でも奮闘中 応援をお願いします！

佐藤前県議は連日のように日本共産党支部や後援会のみなさんと、福井市内で街頭宣伝をおこなっています。高市総理の「台湾有事」に自衛隊参戦発言撤回を、安保法制廃止を！日本をふたたび戦場にしてはいけない！暮らしと商売守る消費税減税を！大きく手を振っての激励なども増えてきています。日本共産党の宣伝をみかけたら激励をよろしくお願いします。

また、佐藤前県議は「さとう正雄ブログ」「フェイスブック」「X」などの連日発信にもチャレンジ中です。「いいね」ボタン、LINEやシェアなどでの拡散にもご協力をお願いします。



（左から）金元書記長、南秀一県委員長、松本坂井市議、佐藤前県議、山田和雄県常任委員



こぼればなし

こぼればなし番外編

前回選挙で落選直後の議会報告ニュースから再録します。「あの悔しさは忘れない」「今度こそ」の思いから。

●●ごあいさつ●●

4月9日投開票の県議会議員選挙で私は次点で議席を失いました。この間、オール与党県政の「対立軸」として、「新幹線の巨額の財政負担と県民が不便になる問題」「日本で唯一の老朽原発再稼働など異常な原発推進県政の問題」「県議会議員と反社会的団体・統一協会の癒着の解明」など取り組んできました。また県民の皆さんの運動とむすんで、少人数学級や子どもの医療費助成制度の拡充、県立学校女子トイレへの生理用品配置など実現してきました。

「県政にモノ言える議席、県民要求の窓口としてひきつづき頑張って」の期待に応えられず本当に申し訳ありません。

しかしこれからも日本共産党役員として県民要求運動や県政課題への要望活動には取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。



今期最後の定例県議会閉会本会議。新幹線関連に

300億円余、の一方で特別支援学校給食費の値上げなどの予算案に反対しました。国保税増税へ誘導、恐竜博物館観覧料、子どもまで大幅値上げなどの議案に反対、の討論をおこないました。反対は私だけ、討論も私だけでした。今期も、「討論のある議会」をめざして努力してきました。私の議席がなかったら、「オール賛成」「討論のない議会」となっていたでしょう。選挙後の今後の議会を県民のみなさんも注視していただきたいと思います。

これまで20年間479号にわたり、県民の皆様へ県政の課題などをお伝えしてきたこのお便りは県議会議員の政務活動費によりつくらせていただきましたので、「いったん」これが最終号となります。選挙中に「政治が難しい、と思っている方でもわかりやすいように伝えてくださっています。誠実で謙虚で真面目な議員だと感謝してもしきれません。あなたに県議としてNo1議員のメダルを贈りたいです」とのメールもいただきました。あらためて議員活動を支えていただいたみなさんに感謝申し上げます。

